



2024～2025年度
山形東ロータリークラブ会報

第1645回例会 2025年1月24日(金)

点鐘 / 18:30 S.A.A. / 工藤 裕史
会場 / 紅花樓 霞城セントラル 24F

Rotary
第2800地区



RIテーマ RI会長: ステファニー A アーチック
ロータリーのマジック

地区目標 ガバナー: 芳賀 康雄
ロータリーにもっと誇りをそして学び DEI の心を持って行動実践しよう

クラブテーマ 会長: 深瀬 俊路 幹事: 菅生 勝則
「シン・ロータリークラブ ピア・ロータリアン ハブ・ロータリー」

会長挨拶



深瀬会長挨拶

こんばんは。今宵は山形東 RC 新年会です。ここ紅花楼さんは、去年の南クラブ幹事であった本間さんのお店です。これまで、中華料理での新年会はありませんでしたから、「シン」企画です。

10日の新年祈祷の時の弁当も、従来の幕の内ではなく、特製すき焼き弁当で

した。これは、おそらく忘年会からおせち料理、新年会へと続く「定番」料理とは違うものを味わうことに新鮮さを感じていただきたい、と考えたからです。

ある老舗経営者は言っています 伝統の継承というものは、「革新の連続に他ならない」と。山形にも多くの老舗の暖簾を掲げるお店はたくさんあります。しかし、百年同じ商売を続けていることは非常に困難で、事業内容を変え少しずつ、もしくは大胆に商売替えをして生きながらえているというのが実情だそうです。

顧客の嗜好と要望や環境の変化に即した対応が求められるのが、令和という時代の特徴ではないでしょうか。

「昔からそうだったから」という口癖はNGワードなのかもしれません。「昔」を当時そのままの形で継承するのではなく、「昔の何が大切なのか」「なぜ当時はそう考えたのか」が問い直されお互いが確認することが必須と捉えます。

窓の外に目を向けてください。きれいな夜景が広がっていますね。この24階建てのビルからの眺望をクラブメンバーと一緒に眺めることにより、40周年に向けた展望と見通しを語り合う新年会にしていきたいと思います。

ちなみに、このビルの高さは、県庁の高さと同じと伺いました。「本当なのか」といま感じた人は確かめてみてください。

山形の街は東から西に向かった扇状地です。立地により、私たちの平衡感覚が誤魔化されて、真っ平のようで傾斜している場所に私たちは立っているのです。これも、RIが提唱する「ロータリーのマジック」かもしれません。

会長任期も下半期に入りました。「ロータリーのマジック」とは、社会に変化というマジックを引き起こすことと同時に、現実の「なま」の状況を直視することのバランスのとおり方が大事なのではないか、と私なりに気づかされたところです。

幹事報告



菅生幹事報告

山形北クラブから 7RC の皆様にボウリング大会の提案がありました。

スケジュールなど詳細は未定ですが取り急ぎご報告いたします。

新年会



出席情報

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	27名	—	15名	—